

第16期

中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

特種東海製紙株式会社

TOKUSHU TOKAI PAPER CO.,LTD.



証券コード 3708

紙化・バイオマス素材化の商品開発により 持続可能社会に貢献



代表取締役社長
松田 裕司

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第16期中間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の報告書をお届け申し上げます。

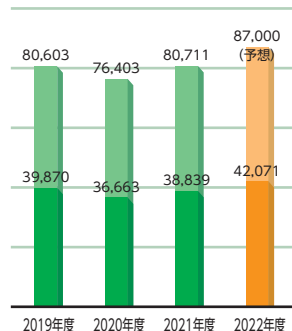
当上半期は、第5次中期経営計画の最終年度として目標計画の達成を目指す中、急激な円安やロシア・ウクライナ情勢の長期化等の影響による原燃料価格の高騰が続き、業績に大きく影響を与えました。価格改定をはじめとする営業努力などにより売上高は全事業分野において増収となったものの、原燃料価格高騰等による影響の低減に努めましたが、台風15号の影響による赤松水力発電所の停機も重なり、減益を計上しました。そのような中、当社グループでは、引き続き第5次中計に掲げた施策を着実に推進するとともに、グループ全体での徹底的な固定費削減と製品の価格適正化を進め、その他あらゆる可能性も模索し挑戦することで、利益の底上げを図り目標値を目指しています。また、脱プラスチック、減プラスチックを目的とした紙化・バイオマス素材化を目指した商品開発も積極的に行い、第5次中計期間に販売開始した製品についても順調に推移しておりますが、さらなる成長を模索しています。

引き続き、環境配慮型製品開発、新たな挑戦領域である環境関連事業に注力し、気候変動・生物多様性など社会における重要課題に対し積極的に貢献することで、サステナブルな企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

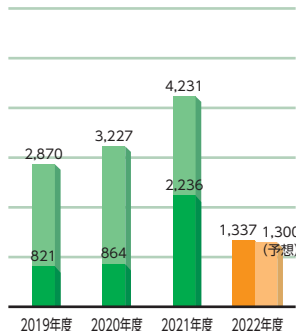
売上高

(単位：百万円)



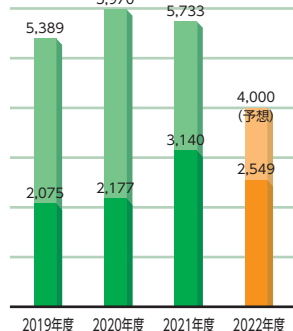
営業利益

(単位：百万円)



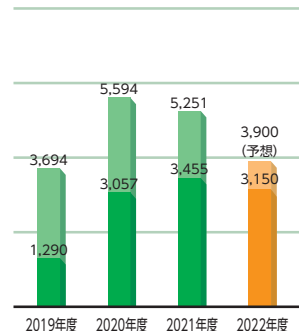
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



資本政策について

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、「配当」「自社株買い」「株主優待」について積極的かつ安定的に実施しております。

当期は、前期より開始した自社株買いにより約150万株を取得し、2022年10月には当社自己株式の保有方針に基づき、発行済株式総数約10%に相当する160万株の消却を行いました。これにより自己株式数は1,405,284株となります。

配当につきましては、将来の事業環境を見据えた財務基盤の強化、自己株式取得による利益還元等を総合的に勘案したうえで、配当性向30%を目途とした安定配当に努めることを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、2022年11月14日の当社取締役会において1株当たり50円をお支払いすることを決議し、2022年12月5日よりお支払いを開始します。期末配当につきましては50円を予定しており、1株当たりの年間配当金は100円を予定しております。

今後も株主の皆様のご期待に応えるよう資本政策の実施に努めてまいります。

2022年度業績予想

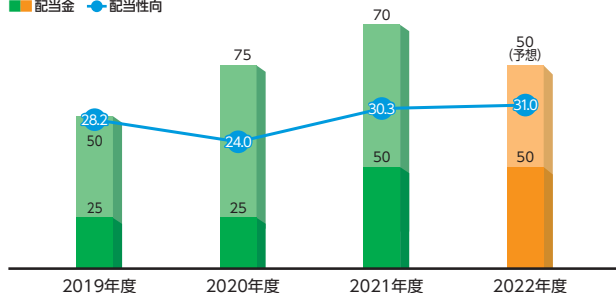
(百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
87,000	1,300	4,000	3,900

1株当たり配当金/配当性向

(円) / (%)

■ 配当金 ● 配当性向



株主優待について

当社は日頃の株主の皆様のご格別なご高配に感謝するとともに、株主優待を通じて個人投資家を中心に株主層の拡大を図りつつ、より多くの株主様に当社ならびに当社グループへのご理解を深めていただくことを目的に株主優待制度を導入しております。

当社グループ製品をご愛顧いただけますよう、個人株主様を中心にご家庭などでご使用いただける優待品をご用意いたしました。

衛生意識の向上により注目されているペーパータオル『タウパー・ポップペーパー』の他、再生紙を使用し環境にやさしい『トイレットペーパー』、さらに使い心地の良い『高級トイレットペーパー』の中から保有株式数と保有期間に応じご希望のものをお選びいただけます。

保有期間3年未満かつ保有株式数300株未満の株主様には図書カード1,000円をお送りしております。

所有株数と保有年数に応じた優待品

保有期間	保有株式数	優待内容
3年未満	300株未満	図書カード1,000円
	300株以上(選択制)	①タウパー・ポップペーパー (Mサイズ 200枚×12個) ②トイレットペーパー 12ロール (107mm×25m ダブル) ×8パック
3年以上	300株未満(選択制)	①タウパー・ポップペーパー (Mサイズ 200枚×12個) ②トイレットペーパー 12ロール (107mm×25m ダブル) ×8パック
	300株以上(選択制)	①タウパー・ポップペーパー (Mサイズ 200枚×18個) ②高級トイレットペーパー 12ロール (107mm×50m ダブル) ×8パック

※保有期間と保有株式数は、当社株主名簿が基準となります。

タウパー・ポップペーパー
(㈱トラライフ製品)



トイレットペーパー
(特種東海エコロジー(株)製品)



高級トイレットペーパー
(特種東海エコロジー(株)製品)



III 中期経営計画の進捗について

当社グループは、原料価格の高騰や円安を主要因とした大変厳しい経営環境の下、業績修正を行い第5次中計目標値の一部達成が厳しい見通しを公表しましたが、本中計の主要施策として掲げた日本製紙(株)との事業構造の強化により段ボール原紙・クラフト紙の販売力も向上し、経常利益においては堅調に推移しております。引き続き、グループ一丸となって中計施策の確実な推進と合わせて製品価格の適正化を図り、下期での業績向上を目指してまいります。

	第5次中計最終年度 2023年3月期目標	長期目標
売上高	825億円	1,200億円
営業利益	45億円	100億円
営業利益率	5.5%	8.3%
ROE	6.5%	8.0%

●新東海製紙(株)バイオマスボイラリニューアル決定

当社グループの新東海製紙(株)において、低炭素社会の実現に向けた取り組みとして、現行のバイオマスボイラを廃棄し、新たに木質バイオマス等を燃料とするボイラを2027年1月の稼働を目指し建設することを決定しました。当社グループでは、早期にバイオマスボイラを導入することで化石燃料からの転換を推進し、生産活動の効率化も合わせて行うことでCO₂排出量を大幅に削減してきました。当ボイラの更新により、化石燃料使用量、CO₂排出量、エネルギーコストのさらなる削減を目指してまいります。

●フィブリック（リチウムイオン二次電池向けセパレータ）販売開始

高い耐熱性、電解液の高い浸透性に優れ、薄型素材である特長を持つセルロース系セパレータ「フィブリック」の販売を2022年度上期より開始しました。現在、順調に生産を進めている中、現有設備での生産量の最大化を目指しており、さらなる増産体制の構築も視野に検討を進めています。



III サステナビリティへの取り組み

TCFD提言への対応

当社グループでは、TCFD提言への対応として、2022年2月にTCFDへの賛同を表明し、2022年6月には気候変動に関する取り組みを中心に整理したTCFDレポートを公表しました。

気候変動問題に対しては2050年カーボンニュートラルを目標に見据えたロードマップに基づき、以下の4つの柱を中心に取り組みを進めてまいります。

1. 再生可能エネルギーの利用拡大

- さらなる再生可能エネルギー発電設備の検討・導入、FITによる発電電力販売から自家消費への転換、新たな燃料の開発などの取り組みを進めます。

2. 省エネルギーの推進

- 各生産活動における効率化を進め、年平均1%以上のエネルギー消費量の削減を目指します。

3. 森林による吸収

- 100年以上当社グループが守り続けてきた井川社有林を始め、国内に数多く保有する社有林を継続的に守り・育むことによって、生物多様性の保全を基本としたCO₂吸収・固定の促進を目指します。

4. 環境対応素材の開発

- 脱/減プラスチックの進展に伴い機能性を有する紙の需要は高まると想定されるため、脱プラに貢献する新製品開発を通じて顧客のCO₂削減にも貢献します。

■環境目標

当社グループでは、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、徹底した省エネ活動や再エネの積極的な利活用、広大な面積を有する社有林の適正な保全を基本とした森林吸収源対策の促進を目指しています。

CO₂排出量の削減目標

2030年度目標：▲38%
(2013年度比)

2050年度目標：実質排出0

※）主要な生産4社を対象とした目標値

TCFDレポートを当社ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.tt-paper.co.jp/csr/>



●TT-PACKAGE FORM ソリッドボックス、デリボックス販売開始

脱プラスチック、減プラスチックを目的とした環境対応商品である当社高付加価値パッケージブランド「TT-PACKAGE」のパッケージ素材を使用し「BOX」「TRAY」「BAG」までの一貫した提案を行うソリューション「TT-PACKAGE FORM」が新たに加わりました。パッケージ素材のTT-SPARKLEを使用しダブルVカット製法で箱を作ることで、金属の重厚感と鋭角なエッジを実現した「ソリッドボックス」、内箱にTT-BARRIER DELIを使用し、テイクアウトなどに使える食品用ボックス「デリボックス」などの規格品の他、受注生産やカスタムなどへの対応も進めています。



<https://www.tt-package.com/>



「ソリッドボックス」



「デリボックス」

●ウイスキーニューボーン限定販売

当社グループ十山(株) (井川蒸溜所) は、南アルプス井川社有林、標高1,200mの奥地で2020年11月より製造を開始し、ニューボーンと呼ばれる熟成3年未満のウイスキー「NEW BORN Non-Peat 2022」を2022年10月に一樽限定で発売しました。また、2022年6月に発表された「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2022」の洋酒部門において、蒸留や熟成環境など今後の期待に関する評価を得てニューカマー賞を受賞しました。「自然を守り、自然を活かす」を基本理念として、南アルプスの天然湧水とその特異な地形から生まれる冷涼多湿な気候を活かした当社ならではのウイスキー造りを進め、井川社有林の持続的な価値向上を目指してまいります。



<https://juzan.co.jp/>



生物多様性への取り組み

当社グループは、2030年までに日本政府が掲げた「陸と海の30%以上を保全・保護する目標（30by30）」を達成するために、2022年4月に環境省を含めた産官民等の有志が設立した「生物多様性のための30by30アライアンス」に、2022年9月8日付で参加しました。

当社グループは、SDGsのマテリアリティに『社有林の活用と生物多様性保全への貢献』を掲げており、特に南アルプス井川社有林は、優れた山岳景観や渓谷、森林生態系など尊い自然環境に恵まれているため、当社グループにとっての財産であり、資本でもあることから、将来にわたってこの自然を守り、育むことを基本理念としています。今後30by30アライアンスの活動を通じて、積極的な生物多様性の保全・保護に努めてまいります。



ダイバーシティ推進の取り組み

人それぞれが持つ無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払拭が、企業のパフォーマンス向上をもたらすと言われています。「重要な仕事と育児・介護を両立することは難しい」「性別ごとに適した業務がある」などのネガティブな思い込みを排除するために、次のような取り組みを実施しました。

◆意識改革

役員・管理職と女性社員に対してアンコンシャス・バイアスに関する意識調査を実施しました。過剰な配慮が部下の意欲を低減させてしまうケースや固定的な役割分担を助長する思い込みが確認され、これらを見直すことができました。

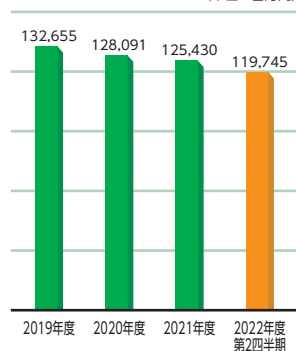
◆知識の共有

様々な場面に潜むアンコンシャス・バイアスの具体例について社内で情報発信し、根拠のない思い込みによる弊害や各自で実施できる対応策について共有することで、各職場の環境改善を促しました。

今後も、多様な人財が活躍できる風土づくりを目指し、様々な観点から意識改革を実施してまいります。

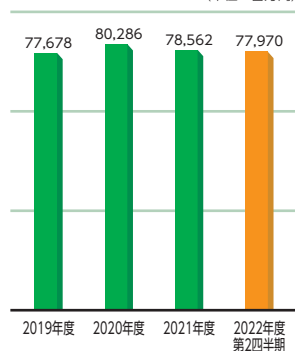
総資産

(単位：百万円)



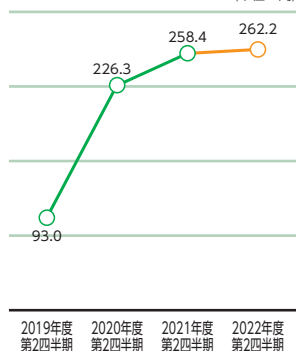
純資産

(単位：百万円)



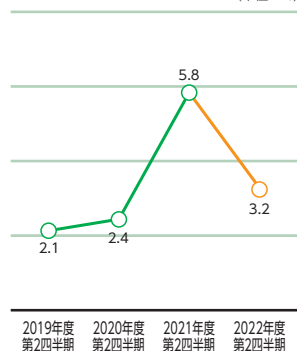
1株当たり四半期純利益

(単位：円)



営業利益率

(単位：%)



セグメントの概要

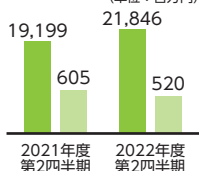
産業素材事業

48.6%
前年同期比 $\uparrow$ 13.8%

- 段ボール原紙は、日本東海インダストリアルペーパーサプライ(株)を通じて国内外向け販売が堅調に推移。クラフト紙についても、国内向け販売が順調に推移。

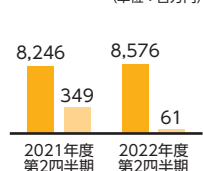
売上高/営業利益

(単位：百万円)



売上高/営業利益

(単位：百万円)



生活商品事業

19.1%
前年同期比 $\uparrow$ 4.0%

- ペーパータオルは各社が供給体制を強化中だが、手拭き用途を中心に需要が引き続き拡大しており、販売数量は前年同期を上回る。
- トイレットペーパーは、販売数量は業務用の回復により前年同期を上回ったことに加え、価格修正が浸透する。しかしながら利益面については、生活商品事業全般において原燃料価格の高騰等により減益。

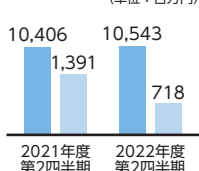
特殊素材事業

23.4%
前年同期比 $\uparrow$ 11.3%

- 特殊印刷用紙は、商業印刷向けの需要に力強さが欠けるが、ファンシーペーパーのパッケージ用途では緩やかな回復傾向にあり、売上は前年同期比を上回る。
- 特殊機能紙は、継続的な価格改定により販売単価が上昇傾向にあり、2020年に発売した高耐熱性絶縁紙は堅調に推移するが、情報用紙は電子化の影響により売上減少、海外向け一部製品は第2四半期以降の取引先の生産調整に伴い売上は前年同期比減少。
- 原価面は、徹底した原価低減に取り組むが、原燃料価格高騰の影響で利益は前年同期比減少。

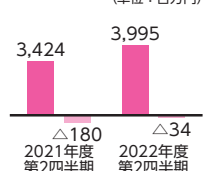
売上高/営業利益

(単位：百万円)



売上高/営業利益

(単位：百万円)



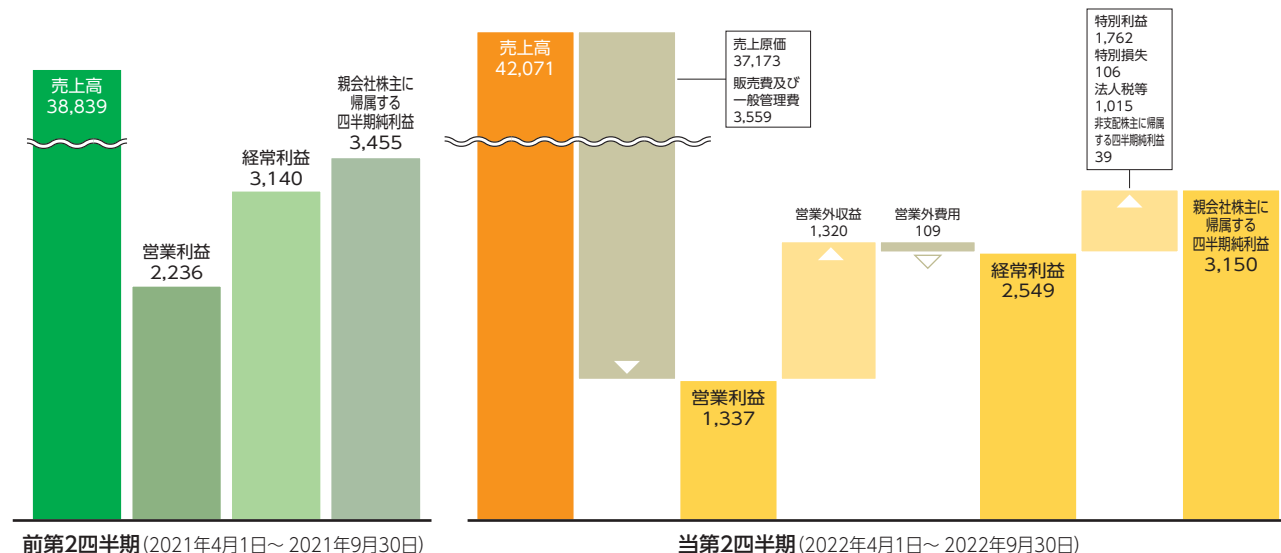
環境関連事業

8.9%
前年同期比 $\uparrow$ 16.7%

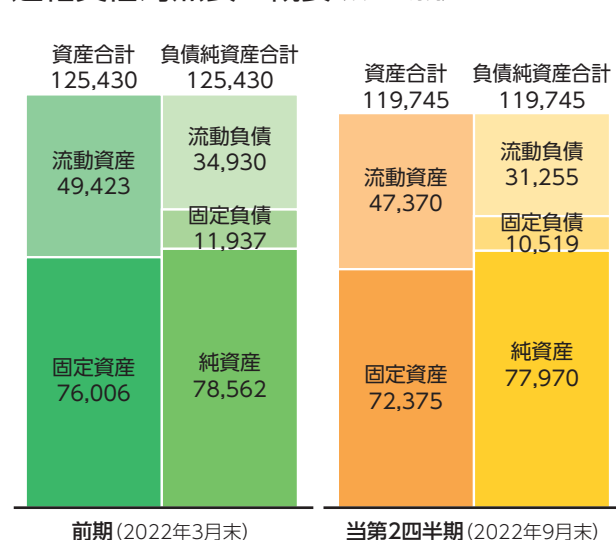
- 自然環境活用分野は、土木・建築設備工事の完成高が前年同期を上回ったことなどにより増収。
- 資源再活用分野は、(株)駿河サービス工業が堅調に推移。

売上高

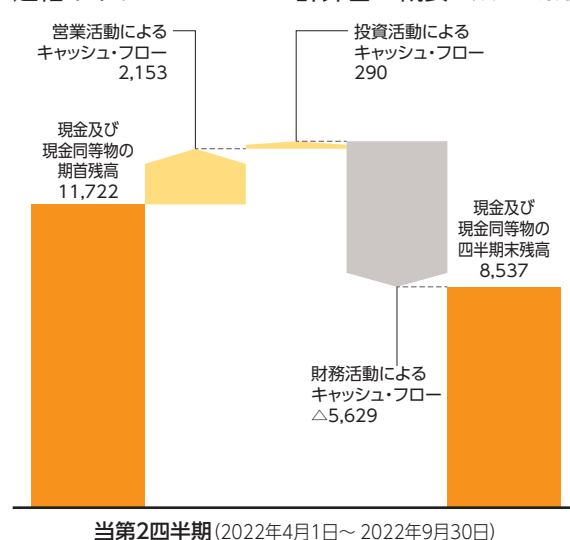
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



会社概要

(2022年9月30日現在)

商号	特種東海製紙株式会社
英文名	Tokushu Tokai Paper Co., Ltd.
事業内容	紙類等の製造・加工・販売及び子会社の経営管理等
資本金	11,485,200,000円
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（コード：3708）
設立年月日	2007年4月2日
本店	静岡県島田市向島町4379番地
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番地1号
事業所	三島工場、岐阜工場

役員

(2022年9月30日現在)

代表取締役社長	社長執行役員	松田	裕司
取締役	常務執行役員	渡邊	克宏
取締役	常務執行役員	佐野	倫明
取締役	執行役員	毛利	豊寿
取締役	執行役員	大沼	裕之
取締役	(社外)	金澤	恭子
取締役	(社外)	磯貝	明
取締役	(社外)	長坂	隆
取締役	(社外)	石川	雄三
常勤監査役		河合	稔
監査役	(社外)	上田	廣美
監査役	(社外)	檜垣	直人

グループ企業

(2022年9月30日現在)

会社名	主な事業
新東海製紙株式会社	紙・パルプの製造・販売
特種東海マテリアルズ株式会社	製紙原料の仕入・販売等
株式会社特種東海フォレスト	土木・建築・造園・山林・観光事業
株式会社レックス	廃棄物の収集、運搬、加工処理・売買
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業、リース業、酒類販売
株式会社TTトレーディング	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニクス関連用紙、加工品等の販売
株式会社トライフ	ペーパータオル・ラミネート製品の製造・販売
特種東海エコロジー株式会社	トイレットペーパーの製造・販売
新東海ロジスティクス株式会社	構内作業業務・運送業
株式会社駿河サービス工業	廃棄物の収集・運搬・処分
十山株式会社	社有林管理、酒類等の製造・加工・販売・輸出入、娯楽・宿泊等の施設運営・経営
株式会社モルディア	パルプモウルトの製造・販売

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 https://www.tr.mufg.jp/daikou/

（上記は、特別口座に記録された株式に関する各種お手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金及び株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問い合わせください。）



当社HPも
ご覧ください。

